

適合レベルA及びAA

#	JIS X 8341-3:2016における達成基準					適合レベル	対応する内容	対応方法	
	分類1	分類2	ID	達成基準	基準概要			機械的に対応できること	人(担当者)が対応すること
1	1. 知覚可能な原則	1.1 代替テキストのガイドライン	1.1.1	非テキストコンテンツの達成基準	利用者に提示するすべての非テキストコンテンツ(画像(画像化した文字を含む)、ASCIIアート(文字や記号を使った図画)、顔文字等テキストでないものすべて)には、同等の目的を果たす代替テキストを提供しなければならない。	A	・非テキストコンテンツには、代替テキストを用意する ・代替テキストを読み上げただけで非テキストコンテンツの内容がわかるようにする ・代替テキストは、alt属性で設定する ・装飾として用いる画像には、代替テキストを設定しない	・画像の代替テキスト設定の有無を確認する	・非テキストコンテンツ(画像(画像化した文字を含む)、ASCIIアート(文字や記号を使った図画)、顔文字等テキストでないものすべて)について、代替テキストを設定する ・代替テキストを読み上げただけでその内容が的確に伝わるか、確認する ・装飾として用いる画像に、代替テキストが設定されていないことを確認する
2			1.2.1	音声及び映像だけ(収録済み)の達成基準	収録済みの音声(映像)しか含まないコンテンツは、代替コンテンツ又は音声トラックによって等価な情報を提供しなければならない。	A	・音声のみのメディアには、音声を書き起こしたテキストを提供する ・映像のみのメディアには、映像内容を説明するテキスト又は音声を提供する	・音声ファイル、映像ファイルの有無を確認する	・音声のみのメディアを掲載する場合は、音声を書き起こしたテキストを併せて掲載する ・映像のみのメディアを掲載する場合は、映像内容を説明するテキスト又は音声を併せて掲載する
3			1.2.2	キャプション(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれているすべての収録済みの音声コンテンツに対して、キャプションを提供しなければならない。	A	・動画(音声を含んだコンテンツ)に含まれる音声情報(会話や笑い声、効果音など)を字幕で提供する	・動画ファイルの有無を確認する	・動画に含まれる音声情報について字幕をつける
4			1.2.3	音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれている収録済みの映像コンテンツに対して、時間の経過に伴って変化するメディアに対する代替コンテンツ又は音声ガイドを提供しなければならない。	A	・動画(映像を含んだコンテンツ)に含まれる映像内容(音声だけでなく、場面の状況や人物の動作なども含む)の解説をテキスト又は音声で提供する	・動画ファイルの有無を確認する	・動画に含まれる映像内容を解説したテキスト又は音声を、併せて掲載する
5			1.2.4	キャプション(ライブ)の達成基準	同期したメディアに含まれているすべてのライブの音声コンテンツに対して、キャプションを提供しなければならない。	AA	・ライブ(生中継)で提供されるメディアに含まれる音声情報(会話や笑い声、効果音など)を字幕で提供する(あらかじめ台本を字幕化するなどで対応)	—	・あらかじめ台本を字幕化するなどの準備をし、ライブ中に対応(場面に合わせて字幕表示)する
6			1.2.5	音声解説(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれるすべての収録済み映像コンテンツに対して、音声ガイドを提供しなければならない。	AA	・動画(映像を含んだコンテンツ)に含まれる映像内容(音声だけでなく、場面の状況や人物の動作なども含む)を解説した音声ガイドを提供する	・動画ファイルの有無を確認する	・動画に含まれる映像内容(音声だけでなく、場面の状況や人物の動作なども含む)を解説した音声ガイド付きの動画を併せて掲載する
7		1.3. 適応可能なガイドライン	1.3.1	情報及び関係性の達成基準	表現を通じて伝達される情報、構造及び関係性は、プログラムが解釈可能でなければならない。	A	・見出し、段落、個条書き、表などを正しいHTML要素で記述する ・見出しはh要素を使用し、文字の大きさ・太さはスタイルシートに記述する(見出し以外にh要素を使用しない) ・強調はem要素やstrong要素を使う ・引用文はblockquote要素を使う ・表を使いたい場合は、個条書き等の方が分かりやすいか検討する ・セル結合は極力使わない ・表には分かりやすいタイトルを付ける(結果的に表の開始位置を伝えることができる) ・ヘッダセルにth要素、データセルにtd要素を使う ・scope属性、id属性、headers属性を正しく使う	・1ページにh1タグが1つだけあることを確認する ・h1→h6の順に設定できているかを確認する ・scope属性の設定の有無を確認する ・em要素、strong要素以外の強調がないか確認する(em要素に自動変換) ・id属性、headers属性が適切に設定されているか確認する	・見出しの設定が適切か確認する(見出しにhタグを使用しているか、見出し以外にhタグが使用されていないか確認する) ・表を利用する場合に、表ではなく個条書きで表現できないか検討する ・表を利用する場合は、読み上げ順序(通常は左上から右方向)の順に見て、理解しやすい表とする ・表の見出し(th要素)、表の見出しごとのデータの並び方向(scope属性:右方向(row)、下方向(col))を設定する
8			1.3.2	意味のある順序の達成基準	コンテンツが提供されている順序がその意味に影響を及ぼす場合には、正確な読み上げ順序はプログラムが解釈可能でなければならない。	A	・表を使う場合に、読み上げ順序を意識し、理解しやすいようにする ・単語内にスペース文字を入れて体裁を整えない ・単語やリンクの途中に強制的に改行を入れない(画面の右端で自動的に次行に表示される場合を除く)	・単語内にスペース文字がないか確認する ・リンクの途中に改行がないかチェック	・表を利用する場合は、読み上げ順序(通常は左上から右方向)の順に見て理解しやすい表とする
9			1.3.3	感覚的な特徴の達成基準	コンテンツを理解し操作するための説明を、形、大きさ、視覚的な位置、方向又は音のような、構成要素がもつ感覚的な特徴だけで提供してはならない。	A	・形に依存した情報提供(太陽の絵で「晴れ」を表すなど)や、表示位置だけに依存した情報提供をしない(形や表示位置による情報提供をする場合は、代替テキストやテキストによる説明を併用して、読み上げでも理解できるようにする)	—	・形や表示位置に依存した情報提供となっていないか(形や表示位置がわからないと掲載情報を理解できない状態になっていないか)確認する ・形や表示位置に依存した情報には、形や表示位置が見えなくても内容が理解できるテキストを併せて掲載する
10		1.4. 判別可能なガイドライン	1.4.1	色の使用の達成基準	情報を伝える視覚的な手段として、色だけを使用してはならない。	A	・色だけに依存した情報提供(赤文字で日曜を表すなど)をしない (色による情報提供をする場合は、テキストによる説明を併用して、読み上げでも理解できるようにする)。	—	・色に依存した情報提供となっていないか(色を認識できないと掲載情報を理解できない状態になっていないか)確認する ・色に依存した情報には、色を認識できなくても内容が理解できるテキストを併せて掲載する
11			1.4.2	音声の制御の達成基準	音声が自動的に再生され、その音声は3秒より長く続く場合、その音声を一時停止若しくは停止するメカニズムを提供しなければならない。	A	・音が自動再生されないようにする(自動再生される場合は、音の停止や音量の調整ができるようにする)	・動画ファイル、音声ファイルの有無を確認する	・ページ表示の際に自動的に音が発生したり、動画や音声は自動的に再生されないことを確認する ・動画や音声を含んだコンテンツを再生途中で一時停止(又は停止)できることを確認する

#	JIS X 8341-3:2016における達成基準					適合レベル	対応する内容	対応方法	
	分類1	分類2	ID	達成基準	基準概要			機械的に対応できること	人(担当者)が対応すること
12			1.4.3	コントラスト(最低限レベル)の達成基準	テキスト及び画像化された文字の視覚的な表現には、少なくとも4.5:1のコントラスト比がなければならない。	AA	・画像にテキストを重ねる場合、画像化した文字のコントラストをつけるようにする	—	・画像化された文字ではなく、テキストのみでの表現を検討する ・画像化された文字について、見やすいように十分なコントラストをつける ・画像にテキストを重ねる場合は、見やすいように十分なコントラストをつける
13			1.4.4	テキストのサイズ変更の達成基準	テキストを200%までサイズ変更できなければならない。	AA	・文字の大きさの指定にはptを使用せず、emや%を使用する	・ptをemに自動変換する ・サイズ変更はCSS等で対応する	—
14			1.4.5	文字画像の達成基準	使用しているウェブコンテンツ技術で意図した視覚的な表現が可能である場合は、画像化した文字ではなくテキストを用いて情報を伝えなければならない。	AA	・文字は画像化しないで、テキストで提供する(ロゴタイプなど画像で表現する必要があるものを除く)	・CSS等で画像化された文字をテキストに変換する機能を提供する	・画像化された文字ではなく、テキストのみでの表現を検討する ・画像化された文字を利用する場合は、代替テキストを設定する
15	2. 操作可能な原則	2.1. キーボード操作可能なガイドライン	2.1.1	キーボードの達成基準	コンテンツのすべての機能は、キーボードインターフェースを通じて操作可能でなければならない。 ※キーボードインターフェース: キーボード、音声入力、ソフトウェアキーボードなど	A	・ホームページの機能をキーボードだけで扱えるようにする (お絵かき機能等、マウス操作が必須の機能を除く)	・画面上のコントロール間を、Tabキー又は矢印キーで遷移できるようにする ・遷移順序は、左上から右下の順になるように設定する	—
16			2.1.2	キーボードトラップなしの達成基準	キーボードインターフェースだけを用いてコンポーネントからフォーカスを外すことが可能でなければならない。	A	・フォーカス移動できなくなるコンポーネント(リンクや入力欄など)をなくす	・画面上のコントロール間を、Tabキー又は矢印キーで遷移できるようにする ・遷移順序は、左上から右下の順になるように設定する	—
17		2.2. 十分な時間のガイドライン	2.2.1	タイミング調整可能な達成基準	コンテンツに制限時間を設定する場合は、解除機能、10倍以上の調整(延長)機能を設ける。	A	・コンテンツに制限時間を設定する場合は、制限時間の解除、10倍以上に調整又は制限時間を延長する機能のいずれかを設ける(リアルタイムのイベントで制限時間が必須のものを除く)	・ページの有効期限の有無を確認する ・制限時間のあるコンテンツがある場合は、利用者が以下のいずれかの機能を利用できるようにする 制限時間の解除、制限時間を10倍以上に調整、制限時間の延長	・制限時間を設ける必要がある場合は、制限時間の解除、10倍以上に調整又は制限時間を延長する機能が使用できることを確認する
18			2.2.2	一時停止、停止及び非表示の達成基準	動きのある、点滅している、又はスクロールしている情報が、自動的に開始し、5秒よりも長く継続する場合、自動更新する情報がある場合は、利用者がそれらを一時停止、停止又は非表示にすることのできるメカニズムがなければならない。	A	・動きのあるコンテンツが自動的に開始する場合や自動更新の機能がある場合には、一時停止、停止又は非表示にできるようにする	・動きのあるコンテンツが自動的に開始する場合や自動更新の機能がある場合には、一時停止、停止又は非表示にできる機能を設ける	—
19		2.3. 発作防止のガイドライン	2.3.1	3回のせん(閃)光又はしきい(閾)値以下の達成基準	閃光は「1秒間に3回以下」又は「一般選考閾値及び赤色閃光閾値を下回っている」。	A	・明るさや色の連続した変化や急激な変化を避ける	—	・明るさや色が連続して変化したり、急激に変化するものがないか確認する(連続した変化が1秒間に3回以下であること) ・動画や映像を含んだコンテンツで閃光を発するものがないか確認する(閃光は1秒間に3回以下)
20		2.4. ナビゲーション可能なガイドライン	2.4.1	ブロックスキップの達成基準	複数のページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップできるメカニズムが利用可能でなければならない。	A	・共通メニューを読み飛ばすリンク(例:「本文へ」というリンク)を視覚的に見えるように設置する	・各ページ共通部分に、共通メニューを読み飛ばすリンクを視覚的に見えるように設置する	—
21			2.4.2	ページタイトルの達成基準	ページには、主題又は目的を説明したタイトルがなければならない。	A	・title要素を設定する ・複数ページに同じタイトルを付けない	・title要素の設定の有無を確認する ・複数ページでタイトルが重複していないか確認する ・タイトルの前か後ろにサイト名を付けるとよりよい	・ページタイトルは、ページ内容が想像できるようなものににする
22			2.4.3	フォーカス順序の達成基準	ナビゲーション順序が意味又は操作性に影響を及ぼす場合、コンポーネントは意味及び操作性を保持した順序でフォーカスを受け取らなければならない。	A	・フォーカス順序を適切な順序にする(通常は左上から右下にかけて、視線の動きと同じ順序)	・フォーカスの遷移順序は、左上から右下の順になるように設定する	—
23			2.4.4	リンクの目的(コンテキスト内)の達成基準	リンクの目的が、リンクのテキストだけから解釈できなければならない。	A	・リンクテキストだけでリンク先を想像できるようにする(前後の文脈も含めて想像できればよい) ・「こちら」は使用しない	・aタグが「こちら」となっているリンクがないか確認する	・リンクを設定した部分のテキストやその前後の文脈から、リンク先の内容が想像できるようにする ・リンクを設定した部分のテキストに「こちら」を使用しない
24			2.4.5	複数の手段の達成基準	あるページに到達することのできる複数の手段がなければならない。	AA	・目的のページに到達する手段として、サイトマップ、検索機能、関連するページへのリンクなど、複数の手段を提供する	・目的のページに到達する手段が複数となるようサイト設計する	—

#	JIS X 8341-3:2016における達成基準					適合レベル	対応する内容	対応方法	
	分類1	分類2	ID	達成基準	基準概要			機械的に対応できること	人（担当者）が対応すること
25	3. 理解可能な原則	3.1. 読みやすさのガイドライン	2.4.6	見出し及びラベルの達成基準	見出し及びラベルは、主題又は目的を説明していなければならない。	AA	・ページ内の文章を内容のまとまりごとに見出し分けしたり、ラベル付ける	—	・文章をよりわかりやすくするため、内容のまとまりごとに見出し分けしたり、ラベル付ける
26			2.4.7	フォーカスの可視化の達成基準	キーボード操作が可能なユーザインターフェースには、キーボードフォーカスの状態が視覚的に認識できる操作モードがなければならない。	AA	・フォーカスが当たっている要素が視覚的に分かりやすいようにする	・フォーカスが当たっている要素が視覚的に分かりやすいようにする（例えば背景色を変更するなど）	—
27			3.1.1	ページの言語の達成基準	ページの主たる自然言語がどの言語であるかを、プログラムが解釈可能でなければならない。	A	・html要素のlang属性を設定する。	・lang属性を日本語（ja）に設定する	・外国語ページの場合は、lang属性を変更する
28			3.1.2	一部分の言語の達成基準	コンテンツの一节又は語句それぞれの自然言語がどの言語であるかを、プログラムが解釈可能でなければならない。	AA	・ページ中に日本語以外の言語を使用する場合は、lang属性を指定する	—	・ページ中に日本語以外の言語を使用する場合は、lang属性を指定する（例　English　）
29		3.2. 予測可能なガイドライン	3.2.1	フォーカス時の達成基準	いずれのコンポーネントも、フォーカスを受け取ったときに状況の変化を引き起こしてはならない。	A	・フォーカスが当たること、自動処理（ページ更新、新しいページに遷移するなど）しないようにする	・CMS等で自動処理が実行されるスクリプトの使用を制限する	—
30			3.2.2	入力時の達成基準	ユーザインターフェースコンポーネントの設定を変更することで状況の変化を引き起こしてはならない。（あらかじめ挙動を知らせている場合を除く。）	A	・プルダウンメニューからの選択やフォームへの入力だけで自動処理（ページ更新、新しいページに遷移するなど）しないようにする（実行ボタンを設置する等に対応する）	・CMS等で自動処理が実行されるスクリプトの使用を制限する	—
31			3.2.3	一貫したナビゲーションの達成基準	サイト内の複数のページで繰り返されているナビゲーションのメカニズムは、相対的に同じ順序で提供しなければならない。	AA	・各ページに共通するもの（グローバルナビゲーション、パンくずリストなど）の位置を統一する	・各ページに共通の要素が同じ位置に表示されるよう、CSS等に対応する	—
32			3.2.4	一貫した識別性の達成基準	サイト内で同じ機能性をもつコンポーネントは、一貫して識別でなければならない。	AA	・サイト内で同じ内容や機能を表す、見出し・リンク・アイコンなどの名前・見栄えを統一する（トップページへのリンク、前ページへのリンク、後ページへのリンクなど）	・サイト内で同じ機能を表す要素は、統一的な見栄えとなるようCSS等に対応する	—
33		3.3. 入力可能なガイドライン	3.3.1	エラーの特定の達成基準	入力エラーが自動的に発見された場合は、エラーとなっている箇所を特定し、そのエラーを利用者にテキストで説明しなければならない。	A	・入力フォームにおいて、入力内容にエラーがあった場合に、エラー箇所を明示し、テキストで説明を表示する	・入力形式の誤りや入力漏れを判定し、エラー項目を明示する仕組みを用意する	・入力フォームにおいて、入力方法の誤りや入力漏れがあった場合に、エラー箇所が明示されるか確認する
34			3.3.2	ラベル又は説明の達成基準	コンテンツが利用者の入力を要求する場合は、入力箇所のラベル又は入力方法についての説明文を提供しなければならない。	A	・入力フォームにおいて、各入力項目に分かりやすいラベルを付ける 入力必須なら明示する 入力条件があれば明示する。（半角全角、英数ひらがなカタカナ、○文字以上、○文字以内など）	・各入力項目にラベルが付けられているか確認する	・各入力項目に付けるラベルは、何を入力するのかわかるようなものにする ・入力必須項目や入力条件（半角英数のみ、全角カナのみ、○文字以上、○文字以内等）がある場合は、説明が記載する
35			3.3.3	エラー修正の提案の達成基準	入力エラーが自動的に発見された場合は、その修正方法が明らかであれば、その方法を利用者に提示しなければならない。	AA	・入力フォームにおいて、入力内容にエラーがあった場合に、エラー箇所を明示し、修正方法をテキストで説明を表示する	・入力形式の誤りや入力漏れを判定し、エラー項目とその修正方法を明示する仕組みを用意する	・入力フォームにおいて、入力方法の誤りや入力漏れがあった場合に、エラー箇所とその修正方法が明示されるか確認する
36			3.3.4	エラー回避（法的、金融及びデータ）の達成基準	法的な義務若しくは金銭的な取引が生じるページ、データ変更、利用者が自分で制御可能なデータの変更・削除するページ、試験の解答を送信するページでは、取消、チェック、確認のいずれかの機能を用意しなければならない。	AA	・法的義務、金銭的取引、利用者自身の情報（住所、氏名など）の変更・削除、試験の解答送信のためのページに、取消（送信内容の取消）、チェック（入力エラーをチェックし、修正の機会を提供）、確認（送信前に点検する機会を提供）の機能を設ける。	・利用者による送信内容の取消、入力エラーを判定して利用者が修正できる機能、送信前に利用者自身で入力内容を確認する機能を用意する	・入力データの送信取消、入力エラーがある場合の明示、送信前に利用者自身で入力内容を確認する機能が使用できるか確認する
37	4. 堅ろうの原則	4.1. 互換性のガイドライン	4.1.1	構文解析の達成基準	マークアップ言語で、要素には完全な開始タグ及び終了タグがあり、要素は仕様に順次で入れ子になっており、要素には重複した属性がなく、どのIDも一意でなければならない。	A	・HTML、CSS、XHTMLなどを正しい文法で記述する。	・W3Cの規定に基づくHTML、CSS、XHTML等の文法に合致した記述となるようCMS等に対応する	—
38			4.1.2	名前（name）、役割（role）及び値（value）の達成基準	ユーザインタフェースコンポーネントにおいて、識別名及び役割は、プログラムが解釈可能でなければならない。	A	・独自のユーザインターフェースコンポーネントやスクリプトを使用する場合は、支援技術がユーザインターフェースコンポーネントの状態を把握できるようにしなければならない。	・HTMLの標準的な技術でページ作成されるよう、CMS等で制御する	—

適合レベルAAA

#	JIS X 8341-3:2016における達成基準						対応する内容	対応方法	
	分類1	分類2	ID	達成基準	基準概要	適合レベル		機械的に対応できること	人(担当者)が対応すること
1	1. 知覚可能な原則	1.2. 時間依存メディアのガイドライン	1.2.6	手話(収録済み)の達成基準	同期したメディアに含まれるすべての収録済み音声コンテンツに対して、手話通訳を提供しなければならない。	AAA	・動画(音声を含んだコンテンツ)に含まれる音声を手話通訳で提供する	・動画ファイルの有無を確認する	・動画に含まれる音声情報について、手話通訳をつける
2			1.2.7	拡張音声解説(収録済み)の達成基準	映像と同等の意味を伝達する音声ガイドを挿入するための十分な長さの(会話及びナレーションの)合間を含まない場合、同期したメディアに含まれているすべての収録済みの映像コンテンツに対して、拡張した音声ガイドを提供しなければならない。	AAA	・動画(映像を含んだコンテンツ)に含まれる映像内容を解説する音声を提供するにあたって、映像の再生中に解説を入れる合間がない場合は、映像の再生を一時停止して、映像内容を解説する音声を利用できるようにする	・動画ファイルの有無を確認する	・動画に含まれる映像内容(音声だけでなく、場面の状況や人物の動作なども含む)を解説した音声ガイド付きの動画を併せて掲載する ・映像の再生中に解説を入れる合間がない場合は、映像の再生を一時停止して、映像内容を解説する音声を入れる
3			1.2.8	メディアに対する代替コンテンツ(収録済み)の達成基準	すべての収録済みの同期したメディア及びすべての収録済みの映像しか含まないメディアに対して、時間の経過に伴って変化するメディアに対する代替コンテンツを提供しなければならない。	AAA	・動画(映像を含んだコンテンツ)に含まれる映像内容(音声だけでなく、場面の状況や人物の動作なども含む)の解説をテキストで提供する	・動画ファイルの有無を確認する	・動画に含まれる映像内容を解説したテキストを、併せて掲載する
4			1.2.9	音声だけ(ライブ)の達成基準	ライブの音声しか含まないコンテンツに対して、それと等価な情報を提示する、時間の経過に伴って変化するメディアの代替コンテンツを提供しなければならない。	AAA	・ライブ(生中継)で提供される音声のみのメディアには、音声を書き起こしたテキストを提供する(リアルタイムでテキスト入力)	—	・あらかじめ台本を字幕化するなどの準備をし、台本以外の状況も含めて、ライブ中に対応(場面に合わせた字幕表示)する
5		1.4. 判別可能なガイドライン	1.4.6	コントラスト(高度レベル)の達成基準	テキスト及び画像化された文字の視覚的な表現には、少なくとも7:1のコントラスト比がなければならない。	AAA	・画像にテキストを重ねる場合、画像化した文字のコントラストをつけるようにする	—	・画像化された文字ではなく、テキストのみでの表現を検討する ・画像化された文字について、見やすいように十分なコントラストをつける ・画像にテキストを重ねる場合は、見やすいように十分なコントラストをつける
6			1.4.7	小さな背景音、又は背景音なしの達成基準	収録済みの音声しか含まないコンテンツで、前景に主として発話を含むものは、背景音を含まないか前景にある発話より少なくとも20デシベルは低くしなければならない。	AAA	・音声のみのメディアについて、主として会話を含んだものは、背景音(BGMなど)をなしとするか小さくして音声を聞き取りやすくする(会話の音量の4分の1以下が目安)	・音声ファイルの有無を確認する	・会話が主である音声のみのメディアについて、会話が聞き取りやすいか確認する
7			1.4.8	視覚的提示の達成基準	テキストブロック(テキストの一文よりも長い物)の視覚的な表現を行う場合は、利用者が前景色と背景色を選択でき、見易さに配慮すること(1行の長さが半角80文字以内で、均等割り付けされていない、横スクロール無しに表示できること)。	AAA	テキストブロックの表現で、以下をすべて満たす。 ・前景色と背景色を選択できる ・1行の長さを半角80文字(全角40文字)以内とする ・均等割り付け(両端揃え)にしない ・段落中の行送りは、少なくとも1.5文字分以上、段落の間隔はその1.5倍以上とする ・テキストサイズを200%まで変更でき、横スクロールしなくてもよいようにする	・前景色と背景色を選択できる機能を提供する ・CMS等で1行の長さを半角80文字(全角40文字)以内制限する ・均等割り付けが使用されていないことを確認する ・CMS等で行送りが自動的に1.5文字分以上となるようにする ・ページ作成者が、段落の間隔を行送りの1.5倍以上に設定できるような機能を提供する ・テキストサイズを200%まで拡大でき、横スクロールしないようにテキストを自動的に折り返す機能を提供する	・段落ごとに間隔(行送りの1.5倍以上)を設ける
8			1.4.9	文字画像(例外なし)の達成基準	画像化された文字は、画像を使った表現が不可欠であるものに限る。	AAA	・文字は画像化しないで、テキストで提供する(ロゴタイプなど画像で表現する必要があるものを除く)	—	・画像化された文字ではなく、テキストのみでの表現を検討する ・画像化された文字を利用する場合は、代替テキストを設定する
9	2. 操作可能な原則	2.1. キーボード操作可能なガイドライン	2.1.3	キーボード(例外なし)の達成基準	コンテンツのすべての機能は、キーボードインターフェースを通じて操作可能でなければならない。	AAA	・ホームページの機能をキーボードだけで扱えるようにする	・画面上のコントロール間を、Tabキー又は矢印キーで遷移できるようにする ・遷移順序は、左上から右下の順になるように設定する	—
10		2.2. 十分な時間のガイドライン	2.2.3	タイミング非依存の達成基準	制限時間が、コンテンツが提示するイベント又は動作の必要不可欠な部分であってはならない。	AAA	・制限時間を設定しない(リアルタイムのイベントで制限時間が必須のものを除く)	・ページの有効期限の有無を確認する	・制限時間を設定しないようにする
11			2.2.4	割込みの達成基準	利用者が中断を延期又は抑制することができなければならない。	AAA	・ページ内容の自動更新を使用しない ・自動更新を使用する場合は、利用者が自動更新のタイミングを設定できるようにする(緊急のため表示メッセージを更新する場合を除く)	・CMS等で自動更新の使用を制限する ・自動更新を使用を制限しない場合は、利用者がそのタイミングを設定できるような機能を提供する	・ページ内容で自動更新されるものがないか確認する
12			2.2.5	再認証の達成基準	認証済みのセッションが切れた場合は、再認証後もデータを失うことなく継続できるようにしなければならない。	AAA	・認証済みのセッションが切れても再認証により継続操作できるようにする	・認証済みのセッションが切れても継続操作が可能なように再認証する機能を提供する	—

#	JIS X 8341-3:2016における達成基準						対応する内容	対応方法	
	分類1	分類2	ID	達成基準	基準概要	適合レベル		機械的に対応できること	人(担当者)が対応すること
13		2.3. 発作防止のガイドライン	2.3.2	3回のせん(閃)光の達成基準	1秒間に3回を超える閃光を放つものがあってはならない。	AAA	・明るさや色の連続した変化や急激な変化を避ける	—	・明るさや色が連続して変化したり、急激に変化するものがないか確認する(連続した変化が1秒間に3回以下であること) ・動画や映像を含んだコンテンツで閃光を発するものがないか確認する(閃光は1秒間に3回以下)
14		2.4. ナビゲーション可能なガイドライン	2.4.8	現在位置の達成基準	サイト中での利用者の現在位置に関する情報が提供されていなければならない。	AAA	・表示中のページがサイト内のどの位置にあるのかわかるようにする(パンくずリストを表示する)	・自動的にパンくずリストを表示する機能を提供する	—
15			2.4.9	リンクの目的(リンクだけ)の達成基準	それぞれのリンクの目的がリンクのテキストだけから特定できなければならない。	AAA	・リンクテキストだけでリンク先を想像できるようにする。	—	・リンクを設定する部分のテキストは、リンク先の内容が想像できるようなものにする
16			2.4.10	セクション見出しの達成基準	セクションの見出しを用いてコンテンツを体系化しなければならない。	AAA	・ページ内の文章を内容のまとまりごとに見出しを付ける	—	・文章をよりわかりやすくするため、内容のまとまりごとに見出しをつける
17	3. 理解可能な原則	3.1. 読みやすさのガイドライン	3.1.3	一般的ではない用語の達成基準	慣用語及び専門用語の特定の定義を示すメカニズムが利用可能でなければならない。	AAA	・慣用語や専門用語には、解説を記載するか、用語集を用意してリンク設定する	—	・一般的ではない慣用語や専門用語が使用されていないか確認する ・一般的ではない慣用語や専門用語が使用されている場合は、解説を掲載するか、用語集を用意してリンクを設定する
18			3.1.4	略語の達成基準	略語の元の語又は意味を示すメカニズムが利用可能でなければならない。	AAA	・略語には、正式名称を添えるか、用語集を用意してリンク設定する	—	・一般的ではない略語が使用されていないか確認する ・一般的ではない略語が使用されている場合は、解説を掲載するか、用語集を用意してリンクを設定する
19			3.1.5	読解レベルの達成基準	テキストが中学校教育レベルを超えた読解力を必要とする場合は、補足的コンテンツが利用可能でなければならない。	AAA	・中学校教育レベルで理解可能な要約(文章やイラスト)を添える。	—	・中学生を想定して理解が難しいと思われる内容がないか確認する ・中学生を想定して理解が難しいと思われる内容については、文章やイラストによる要約を併せて掲載する
20			3.1.6	発音の達成基準	単語の特定の発音(読み仮名)を示すメカニズムが利用可能でなければならない。	AAA	・難読語や読み方が複数ある単語には、すぐ後ろに読み仮名を表記する	—	・難読語や読み方が複数ある単語がないか確認する ・難読語や読み方が複数ある単語には、すぐ後ろに読み仮名を表記する (例 御徒町(おかちまち)、東雲(しのめ))
21		3.2. 予測可能なガイドライン	3.2.5	要求による変化の達成基準	状況の変化は利用者の要求によってだけ生じるか、又はそのような変化を止めるメカニズムが利用可能でなければならない。	AAA	・自動処理(ページ更新、新しいページに移移するなど)しないようにする ・リンクから別ウインドウを開く場合は、別ウインドウで開くことを明示する	・CMS等で自動処理が実行されるスクリプトの使用を制限する ・リンクから別ウインドウが開く場合に、リンクを設定しているテキスト部分に「別ウインドウ」等のテキストが含まれているか確認する(又は、リンクテキストに「(別ウインドウへ)」と自動表記する)	・別ウインドウが開くリンクについて、別ウインドウにしないことを検討する ・別ウインドウが開くリンクには、別ウインドウで開くことが明示する
22		3.3. 入力可能なガイドライン	3.3.5	ヘルプの達成基準	状況に応じたヘルプが利用可能でなければならない。	AAA	・入力フォームについて、入力方法や入力項目の説明を記載したヘルプを用意する	・入力フォームについて、ヘルプを提供できる機能を用意する	・入力フォームについて、入力方法や入力項目を説明したヘルプを用意して掲載する
23			3.3.6	エラー回避(全て)の達成基準	利用者に情報の送信を要求するページでは、取消、チェック、確認のいずれかの機能を用意しなければならない。	AAA	・入力内容を送信するページについて、取消(送信内容の取消)、チェック(入力エラーをチェックし、修正の機会を提供)、確認(送信前に点検する機会を提供)の機能を設ける。	・利用者による送信内容の取消、入力エラーを判定して利用者が修正できる機能、送信前に利用者自身で入力内容を確認する機能を用意する	・入力フォームについて、送信の取消、送信前のチェック、確認ができるかどうか確認する